



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)ヘルスサポート	代表者	高良 まき子
事業所名	小規模多機能型ホーム若狭	管理者	具志 勇作

法人・事業所の特徴
 多種の介護保険事業所を運営している法人です。『安心できる住み慣れた住宅や地域で、自分らしく、これまでの暮らしを続けることができる』ように、利用者の思いや望みをくみとり、家族との密な連携、事業所の雰囲気作りに心がけています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人		1人	1人	人	人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所の自己評価の確認	当事業所を現在利用している方やこれから利用を希望している方が、小規模多機能のサービスを利用、継続できるように事業所内での新型コロナウイルス感染が発生しないよう努力する。	事業所内の関係者以外の立入制限、集団プログラム活動の自粛し、基本感染対策を可能な範囲で行ったが、1月上旬クラスターが発生、約2週間、ご家族にお仕事を休んでもらい、自宅での介護をお願いする事となった。	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていないへのチェックが多く、事業所全体に意見が吸い上げられているか不明 ・理由は、コロナ過で、感染対策より優先して取り組むべき事が現段階で好ましくない為、「出来ていない⇒やれないである。」 	新型コロナウイルス感染(クラスター)を発生させないよう感染対策に努め、在宅介護サービスが滞る事なく提供できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	施設内外の清掃を行い、気持ちよく施設を利用できるようにする。	施設外の街路樹スペースに自転車や電化製品の不法投棄あり、廃棄物対策課に連絡して撤去しました。花壇～自動販売機周辺にゴミやタバコのポイ捨てあり、毎日清掃。施設内は、コロナを持ち込まないよう、玄関消毒マット(毎日取替)入口インターホーン、エレベータ(ボタン)手すり、テーブル、イス、トイレ、浴室、フローア、ベッド、平行棒、電話、パソコン、送迎車に至るまで毎日清掃及び消毒を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日清掃ポイ捨て等で不法投棄に関しても適切に対応にもしっかり気をつけている職員の皆様は素晴らしいと思います。 ・コロナ過で特に気をつけて消毒して、業務量が増えているかと思いません。努力している様子がよく分かります。 ・現在、できている事を確実に丁寧に継続していく事が大切である。 	施設内外の感染対策(消毒)と清掃を通して、気持ちよく施設を利用できるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナウイルスが落ち着き、施設と地域の方々が安全に活動できる状況が社会的に確保されるまで、事業所の利用者への感染防止を第一として活動や関わりを控える。	事業所内のクラスター発生で、利用者、ご家族様は2週間不利益をこうむった事、高齢者や疾病のある方の死亡率は非常に高いという事実を受け止め、社会は脱コロナという風潮であるが、小規模若狭では、施設を利用頂いている本人、ご家族の安全と生活を最優先に自粛、慎重に時期を見定めた上で、地域交流などのイベント参加は検討の上見送った。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過前は地域交流室を開放していた為、地域の方との交流あり、今後も継続してほしい。 ・直接イベントに参加できないようでしたら、動画にとって見てもらうとか何かできる事を検討しても良いかもしれませんね。 	新型コロナウイルスが落ち着き、施設と地域の方々が安全に活動できる状況になったら、活動する方々にも感染対策(過度な人数にならないよう調整、マスク着用、検温、換気、使用後の消毒等)の責任をもって頂いた上で、地域交流室を開放する。

<p>D.地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>困り事や利用相談等で事業所を訪れた場合は個別に話を聞いて、関係機関と協力しては対応できるようにする。</p>	<p>直接、事業所を訪れて介護の相談に訪れた方、包括支援センターや民生委員の方から情報提供を頂き、個別に介護相談をさせて頂き、複数の利用相談をお受けいたしました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りの安全を優先させないといけないので、地域行事やイベントに参加できないのは慎重な対応である。 ・イベント自体も中止が多かったので仕方がないと思います。利用者の安全第一でよいかと思います。 ・Gに同じく、コロナ感染防止のため、地域行事、イベント外出は難しいと思います。近所の心配の方には民生員を通ししっかり関わっていると思います。 ・病気や怪我で同居家族の負担がかからないよう、気づかってもらって助かっています。 	<p>困り事や利用相談等で事業所を訪れた場合は個別に話を聞いて、関係機関と協力しては対応できるようにする。</p>
<p>E.運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>「運営推進会議で地域の方で気になる方の情報や関わりがあれば、大小を問わず、事例報告や情報交換を行い、内容の詳細も記録にして継続して検討できるようにする」</p>	<p>新型コロナの状況が落ち付かず、沖縄県で10月に一時的に発生率が減少となったが、職員から陽性者が発生し、保健所の介入を受ける等のタイミング的な事情、その後、第8波で感染増加に転じた事もあり、令和4年は運営推進会議は直接開催できず、規模を縮小して事業所の職員のみで行う事となった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の事例に関しては、必要時、包括も関わらせていただき、一緒に検討したり、話し合いにも参加させていただきました。今後も包括として関われる事例はご相談下さい。 ・通常の会議が出来ない状況ではありますが、電話等でも意見交換できたらと思います。 	<p>コロナの感染状況を踏まえて、感染対策や運営推進会議の進行を工夫(小規模の運営推進会議が終了した後にグループホームに交代する等※人数制限も踏まえて)を行い、各担当者で顔を合わせて運営推進会議を開催できる。</p>
<p>F.事業所の防災・災害対策</p>	<p>年2回の防災訓練には、1人でも多くの職員に参加できるようにする。</p>	<p>感染対策を行いながら、グループホームと共同で消防訓練を行っています。職員の勤務上の問題もあり、1回目の訓練には参加できたが、2回目の訓練には参加できなかったパターンもあり、本年度は、前回の参加の有無を踏まえて参加できるよう調整する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平而から災害時などの視点を持ち、環境を整備しておくことが一番よいと思います。 ・コロナ感染状況が落ち着きましたら是非防災訓練にも参加したいと思います。 	<p>年2回の防災訓練で運営推進会議の構成員の方々にも参加して頂けるようにする。</p>